

# SmartPlant License Manager 8.0

## スタートアップ・ガイド

SmartPlant Review (SPR)や SmartPlant Instrumentation (SPI)等のアプリケーションを御利用頂くためには、ライセンス管理ソフトウェアとして SmartPlant License Manager (SPLM)のインストールを行う必要があります。SPLM のインストール後、御利用のコンピュータを特定するための情報を含んだ Machine ID と呼ばれる文字列を出力します。出力された Machine ID を当社へ御連絡頂くと、ライセンスキーと呼ばれる文字列を発行致します。お送りするライセンスキーを SPLM へ入力することにより、アプリケーションを御利用頂けるようになります。

- SPLM のインストール
- Machine ID の出力・送付
- ライセンスキー取得・インストール
- アプリケーションのインストール
- アプリケーション利用可能

この資料では、1 台のコンピュータ上で SPR 等のアプリケーションおよび SPLM 8.0.2.1 を動作させるためのインストール手順を御説明します。なお、「製品使用許諾契約および限定保証」の表示を行うため、Adobe (Acrobat) Reader をインストールしておく必要があります。SPLM の CD に含まれる Adobe Reader は英語版となるため、日本語版 Windows マシンへセットアップを行う際には Adobe 社の Web サイト等から日本語版 Adobe Reader を入手しておく必要があります。

複数のクライアントマシン上のアプリケーションに対して、1 台のコンピュータでライセンス管理を行う場合(ライセンスサーバを設置する場合)、この資料とはセットアップ方法が異なります。詳細については、SmartPlant License Manager Installation and User's Guide を御参照下さい。

## Microsoft Loopback Adapter のインストール

SmartPlant License Manager 8.0 を使用するためには、コンピュータの IP アドレスを固定とする必要があります。ネットワーク(LAN)ケーブルを接続する実際のネットワークアダプタの IP アドレスを固定とできない場合(DHCP を利用する場合)、そのコンピュータ内部だけで動作するソフトウェアによる仮想的なネットワークアダプタ(Microsoft Loopback Adapter)をインストールする必要があります。

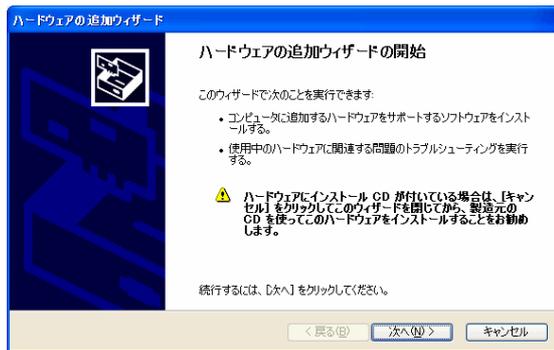
Administrator 等の管理者権限を持つユーザ名により Windows にログオンした状態で、[スタート] 「コントロール パネル」を開きます。左図のような表示(カテゴリー表示)が行われている場合には「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。



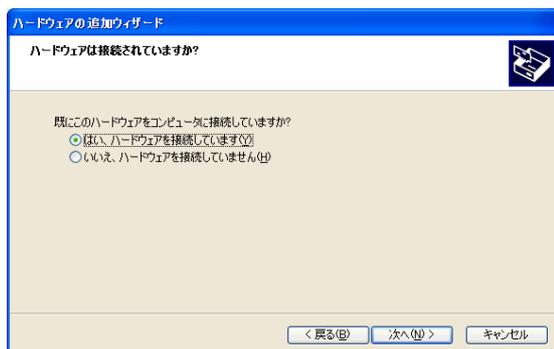
左上の「関連項目」から「ハードウェアの追加」をクリックします。次頁の「ハードウェアの追加ウィザード」が起動されます。



「コントロール パネル」が「クラシック表示」に切り替えられていた場合には、「ハードウェアの追加」アイコンをダブルクリックします。次頁の「ハードウェアの追加ウィザード」が起動されます。

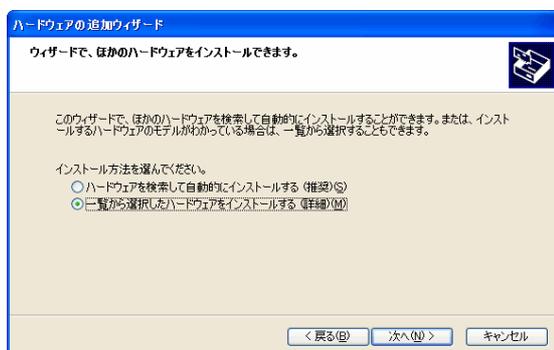


「ハードウェアの追加ウィザード」が起動されます。[次へ(N) >]ボタンをクリックします。

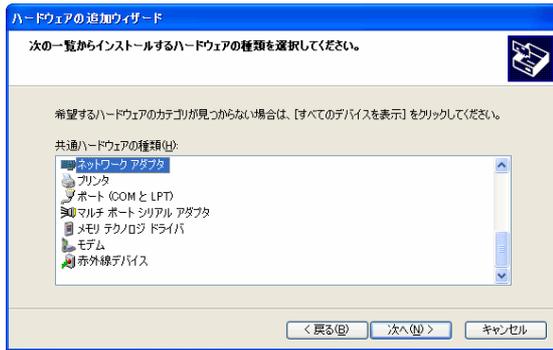


「はい、ハードウェアを接続しています(Y)」を選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックします。

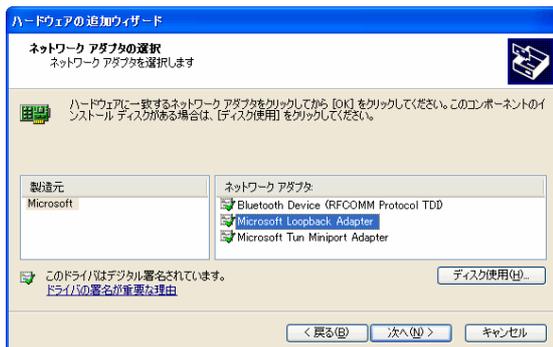
リストから「新しいハードウェア デバイスの追加」を選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックします。



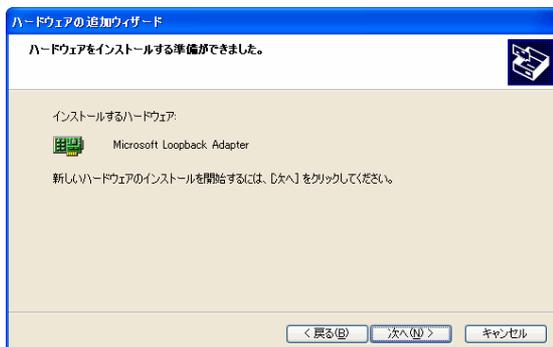
「一覧から選択したハードウェアをインストールする(詳細)(M)」を選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックします。



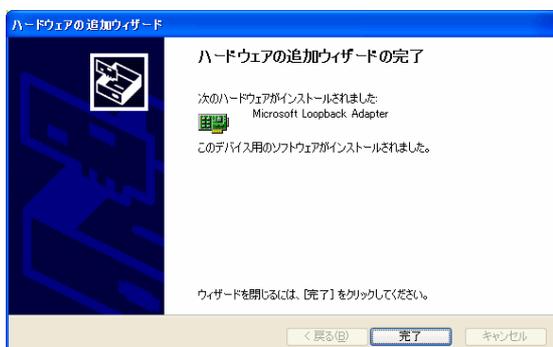
リストから「ネットワーク アダプタ」を選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックします。



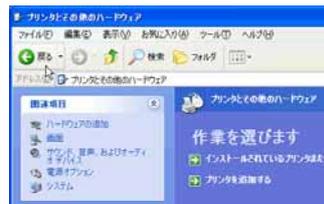
「製造元」から「Microsoft」、「ネットワークアダプタ」から「Microsoft Loopback Adapter」を選択し、[次へ(N) >]ボタンをクリックします。



[次へ(N) >]ボタンをクリックします。



[完了]ボタンをクリックします。



「コントロール パネル」が「カテゴリ表示」となっている場合には[ 戻る]ボタンをクリックします。



「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



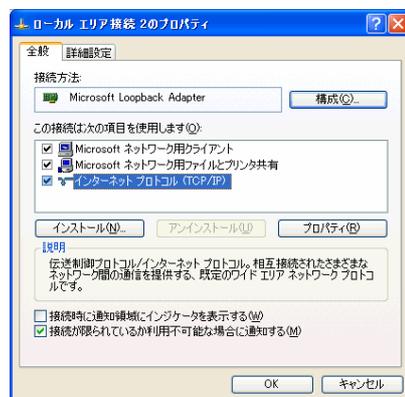
「ネットワーク接続」をクリックします。「ネットワーク接続」ウィンドウが開きます。



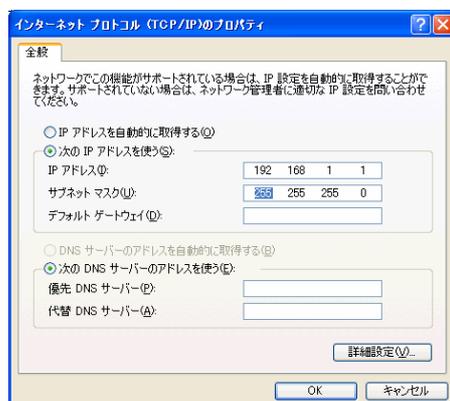
「コントロール パネル」が「クラシック表示」となっている場合には「ネットワーク接続」アイコンをダブルクリックします。「ネットワーク接続」ウィンドウが開きます。



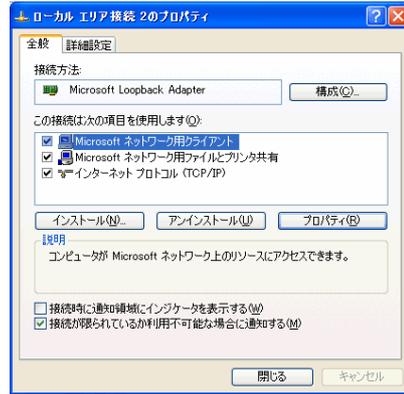
「ネットワーク接続」ウィンドウが開きます。前記の手順で Microsoft Loopback Adapterのインストールを行った場合、通常「ローカル エリア接続 2」という名前のネットワーク接続が作成されます(無線LAN等がインストールされている場合には名前が異なる場合があります)。「ローカル エリア接続 2」アイコン上でマウス右ボタンをクリックして表示されるメニューから、「プロパティ(R)」を選択します。



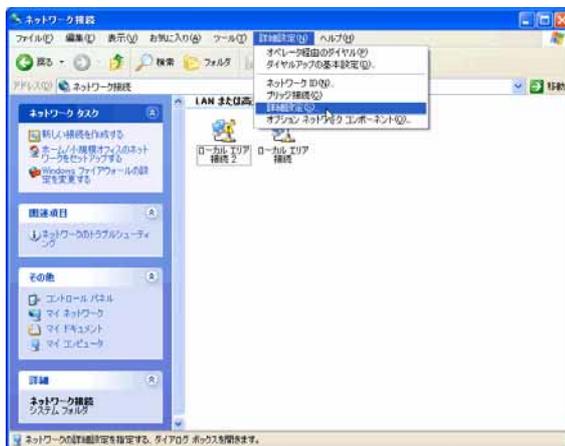
「接続方法」として「Microsoft Loopback Adapter」と表示されていることを確認します。リストから「インターネット プロトコル (TCP/IP)」を選択し、[プロパティ(R)]ボタンをクリックします。



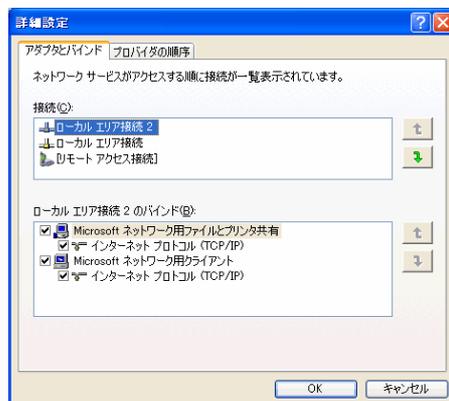
「次のIPアドレスを使う(S)」オプションを選択します。「IP アドレス(I)」に対して「192.168.1.1」(推奨値)と入力し、キーボードの[Tab]キーを押します。「サブネット マスク」に「255.255.255.0」と表示されたことを確認し、[OK]ボタンをクリックします。



「ローカル エリア接続 2 のプロパティ」ダイアログボックスに戻ります。[閉じる]ボタンをクリックします。



「ネットワーク接続」ウィンドウの「詳細設定(N)」メニューから「詳細設定(S)」を選択します。



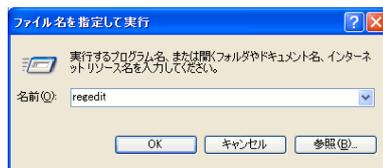
「接続(C)」リスト内で「ローカル エリア接続 2」が最も上に位置していることを確認します。最も上ではない場合には、「ローカル エリア接続 2」を選択し、[ ]ボタンを使用して順序を変更します。[OK]ボタンをクリックします。

## レジストリ DisableDHCPMediaSense の設定

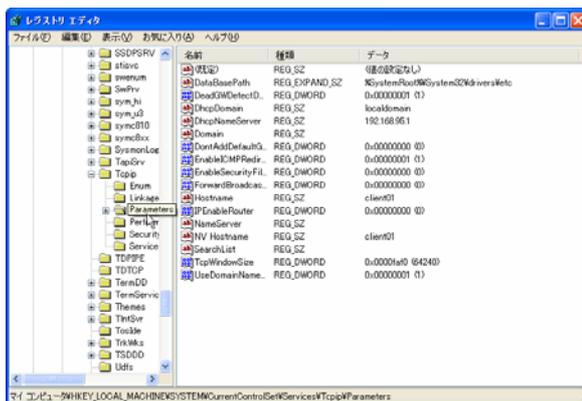
Windows XP のデフォルト設定では、実際のネットワークアダプタからネットワーク(LAN)ケーブルの接続を外すと、TCP/IP ネットワークの機能が停止する場合があります。上記の Microsoft Loopback Adapter のインストールを行わなかった場合(実際のネットワークアダプタに固定 IP アドレスが設定されている場合)、以下のようにレジストリ DisableDHCPMediaSense の設定を行う必要があります。



Administrator等の管理者権限を持つユーザ名によりWindowsにログオンした状態で、[スタート] 「ファイル名を指定して実行(R)」を選択します。



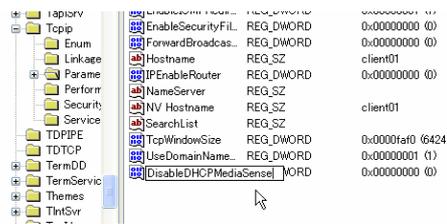
「名前(Q)」に対して「regedit」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。



「マイ コンピュータ」  
 「HKEY\_LOCAL\_MACHINE」  
 「SYSTEM」 「CurrentControlSet」  
 「Services」 「Tcpip」 「Parameters」の順にダブルクリックしていきます。



「Parameters」を表示している状態で、メニューから「編集(E)」 「新規(N)」 「DWORD値(D)」を選択します。



「新しい値 #1」と表示されている部分を「DisableDHCPMediaSense」(大文字/小文字の区別が行われます)と書き換え、最後にキーボードの[Enter]キーを押します。



「DisableDHCPMediaSense」をダブルクリックします。「DWORD値の編集」ダイアログボックス上で、「値のデータ(V)」に対して「1」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。

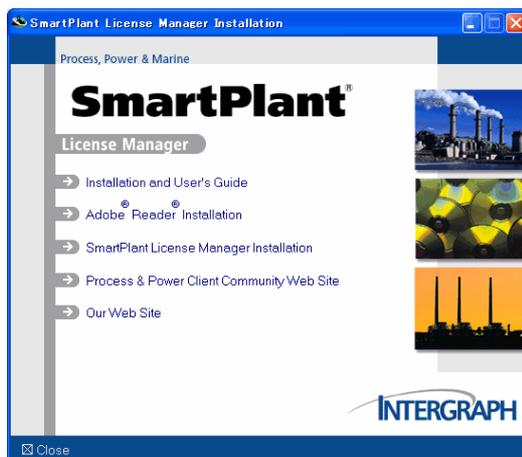
上記の手順を行った後、コンピュータの再起動を行います。

## SmartPlant License Manager 8.0 のインストール

以下の手順により、SmartPlant License Manager 8.0 のインストールを行います。なお、日本語版 Windows マシンへセットアップを行う場合には、事前に Version 7.0 以上の日本語版 Adobe Reader ソフトウェアを Adobe 社の Web サイト等から入手し、インストールを行っておく必要があります。



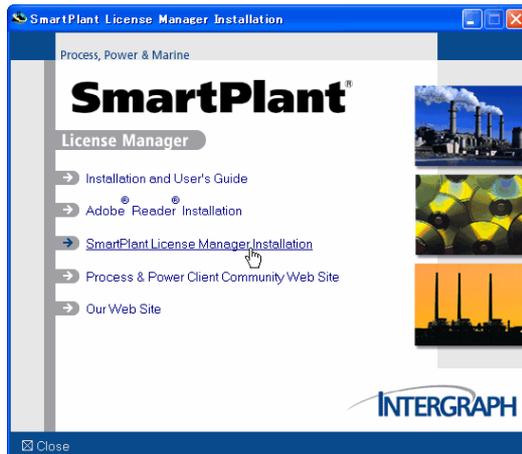
Administrator 等の管理者権限を持つユーザ名により Windows にログオンした状態で、「SmartPlant License Manager (SPLM) v8.0」の CD-ROM (ラベルの一番下に MMDE44408 と記載されているもの) をドライブに挿入します。



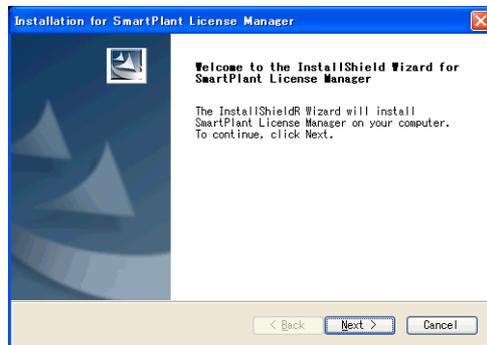
左図のような画面が表示されます。自動再生が行われない場合は、CD-ROM 内の setup.exe ファイルをダブルクリックします。



英語版 Windows マシンへセットアップを行う場合には、「Adobe Reader Installation」から英語版 Adobe Reader ソフトウェアのインストールを行うことも可能です。日本語版 Windows マシンへセットアップを行う場合には、事前に日本語版 Adobe Reader ソフトウェアの入手およびインストールを行っておく必要があります。



「SmartPlant License Manager Installation」を選択します。



SmartPlant License Managerのインストーラーが起動されます。[Next >]ボタンをクリックします。



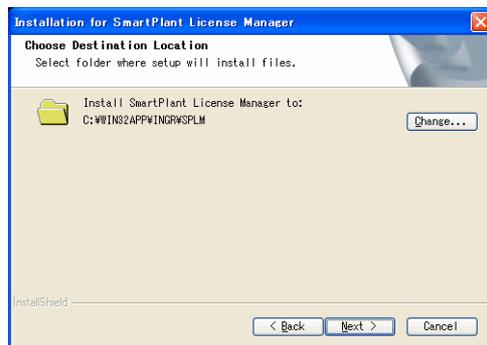
User NameおよびCompany Nameの入力を行い、[Next >]ボタンをクリックします。



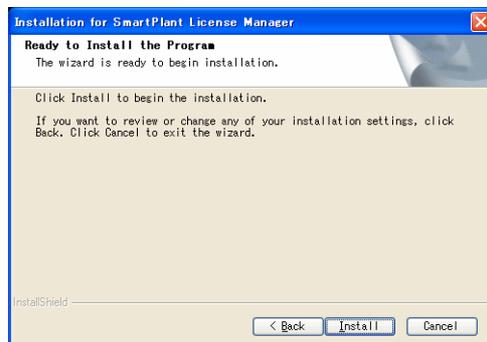
Countryから「Japan」または適切な言語を選択し、[Display...]ボタンをクリックします。Adobe Readerが起動され、「製品使用許諾契約および限定保証」が表示されます。



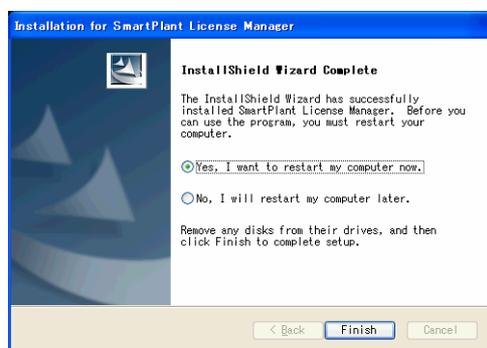
「製品使用許諾契約および限定保証」の内容を御確認・御同意頂いた場合には、Adobe Readerを終了します。[Yes]ボタンをクリックします。



通常、SPLMのインストール先フォルダを変更する必要はありません。[Next >]ボタンをクリックします。



[Install]ボタンをクリックすると、インストールが始まります。



「Yes, I want to restart my computer now.」を選択した状態で[Finish]ボタンをクリックします。コンピュータが再起動されます。

## Windows ファイアウォールの設定

Windows XP Service Pack 2 等の OS では、デフォルトで「Windows ファイアウォール」と呼ばれるセキュリティ機能が有効となっています。複数のクライアントマシン上のアプリケーションに対して 1 台のコンピュータ(ライセンスサーバ)でライセンス管理を行う場合には、各クライアントマシンおよびライセンスサーバ上で下記の設定を行っておく必要があります。1 台のコンピュータ上で SPR 等のアプリケーションおよび SPLM 8.0 を動作させる場合には必須ではありませんが、将来的に構成の変更を行われる場合に備えて、下記の設定を行われることを推奨致します。



Administrator 等の管理者権限を持つユーザ名により Windows にログオンした状態で、[スタート] 「コントロール パネル」を開きます。左図のような表示(カテゴリー表示)が行われている場合には「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



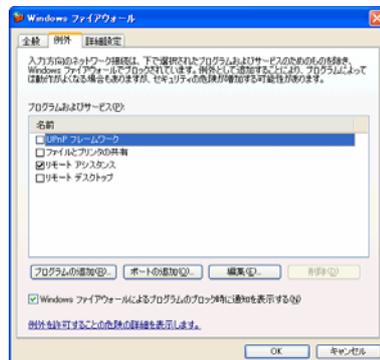
「Windows ファイアウォール」をクリックします。次頁の「Windows ファイアウォール」ダイアログボックスが表示されます。



「コントロール パネル」が「クラシック表示」に切り替えられていた場合には、「Windows ファイアウォール」アイコンをダブルクリックします。次の「Windows ファイアウォール」ダイアログボックスが表示されます。



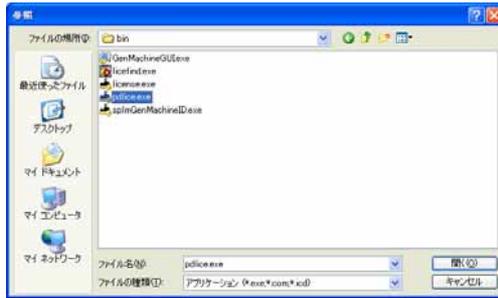
「Windows ファイアウォール」ダイアログボックスが表示されます。「例外を許可しない (D)」オプションがオフ(チェックマークが付いていない状態)となっていることを確認します。なお、ダイアログボックス上の設定項目がグレー表示され、変更不可能な状態となっている場合には、社内ネットワーク管理者の方に御相談下さい。



ダイアログボックス上部の「例外」タブをクリックします。[プログラムの追加(R)]ボタンをクリックします。



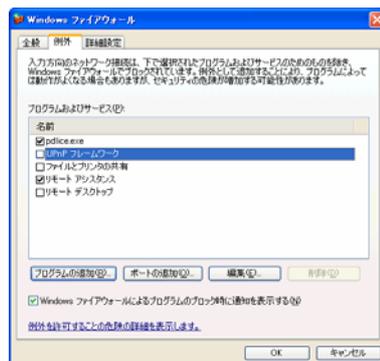
「プログラムの追加」ダイアログボックスが表示されます。[参照(B)]ボタンをクリックします。



「参照」ダイアログボックス内で  
C:\WIN32APP\INGR\SPLM\bin フォルダを表示します。pdlice.exeファイルを選択し、[開く(O)]ボタンをクリックします。



「プログラムの追加」ダイアログボックスに戻ります。「プログラム(P)」リストにpdlice.exeファイルが追加されていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。



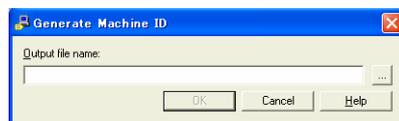
「Windows ファイアウォール」ダイアログボックスに戻ります。「プログラムおよびサービス(P)」リストにpdlice.exeファイルが追加され、チェックマークが付けられていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。

## Machine ID の出力・送付

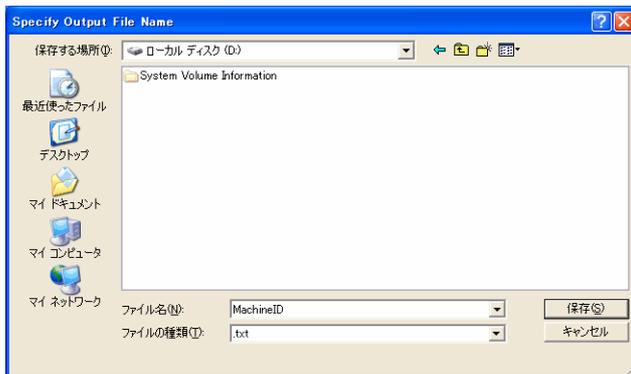
コンピュータの再起動後、御利用のコンピュータを特定するための Machine ID をファイルに出力し、当社へ御送付下さい。当社では Machine ID を基にライセンスキーの発行を行います。



[スタート] 「すべてのプログラム」  
「Intergraph SmartPlant License  
Manager」 「Generate Machine ID」を起  
動します。[はい(Y)]ボタンをクリックします。



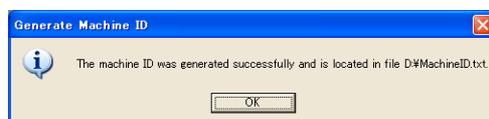
右側の[...]ボタンをクリックします。



Machine IDをファイルとして保存するフォル  
ダを選択します。「MachineID」のように出  
力ファイル名を入力し、[保存(S)]ボタンをク  
リックします。



[OK]ボタンをクリックすると、Machine ID が  
ファイルに出力されます。



[OK]ボタンをクリックし、Generate Machine  
ID を終了します。

上記のように Machine ID の出力を行った後、作成されたファイルを電子メールの添付ファイルとして d-jp-ppmserv@intergraph.com まで御送付下さい。御送付頂く電子メールには、下記の情報についても御記入下さい。御送付頂いた Machine ID を基にライセンスキーをお送り致します。なお、お送りするライセンスキーは特定の日付でのみインストールが可能です。インストール作業に御都合のよい日時を御指定下さい。また、上記の Machine ID 出力は1回のみ行って下さい。2回以上 Machine ID 出力を行われると、お送りするライセンスキーは無効となり、インストールを行えなくなります。

会社名

御名前

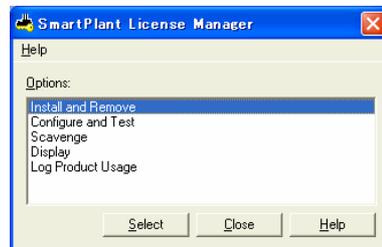
電話番号

コンピュータ名(機種名ではなくネットワーク上で識別するための名前)

ライセンスキーのインストール作業日

## ライセンスキーのインストール

ライセンスキーを受領された後、御指定のインストール作業日に以下の手順によりライセンスキーのインストールを行います。



[スタート] 「すべてのプログラム」 「Intergraph SmartPlant License Manager」 「SmartPlant License Manager」を起動します。Options から 「Install and Remove」を選択した状態で、[Select]ボタンをクリックします。



Optionsから「Install License Key」を選択した状態で、[Select]ボタンをクリックします。

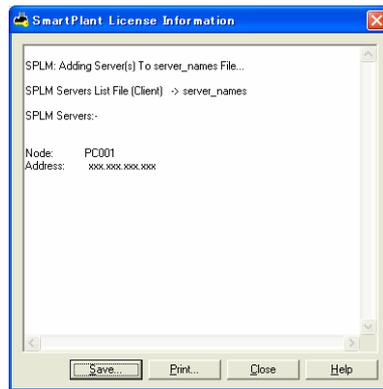


License keyに対して、お送りしたライセンスキーを入力し、[OK]ボタンをクリックします。なお、お送りする電子メール内では、「License Key:」という部分以降の非常に長い文字列(アルファベットと数字)がライセンスキーとなります。大文字/小文字の区別、および 0 (ゼロ)とo (オー)の違い等に御注意下さい。また、画面上でのメール表示において複数行に折り返されている場合でも、改行を行わずに1行として入力を行います。

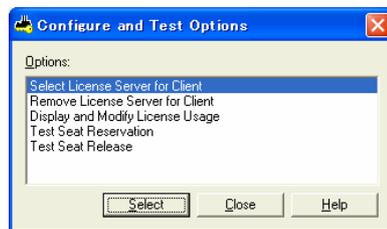


ライセンスキーのインストールが行われます。[OK]ボタンをクリックします。

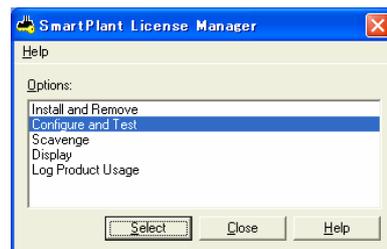




コンピュータの名前がライセンスサーバとして登録されます。「Address」として前記 Microsoft Loopback Adapterに対して指定したIPアドレス(推奨値: 192.168.1.1)が表示されていることを確認し、[Close]ボタンをクリックします。



[Close]ボタンをクリックし、最初の画面に戻ります。



[Close]ボタンをクリックし、SmartPlant License Managerを終了します。

## アプリケーションのインストール

上記の手順後、SPR 等の各アプリケーションのインストールを行います。詳細については、各アプリケーションの Installation Guide 等の資料を御参照下さい。なお、各アプリケーションの Installation Guide 等で紹介されている手順に SPLM 関連の記述がある場合には、その部分を割愛します。

## エラーメッセージと対応方法

よく発生するエラーメッセージとその対応方法には、以下のようなものがあります。

### Machine ID出力時:

#### メッセージ:

You must have administrator privilege to run generate Machine ID.

#### 対応方法:

Machine ID 出力作業は、管理者権限を持つユーザ名(Administrator 等)により実行する必要があります。

### ライセンスキー・インストール時:

#### メッセージ:

You must have Administrator privilege to execute this option.

#### 対応方法:

ライセンスキーのインストール作業は、管理者権限を持つユーザ名(Administrator 等)により実行する必要があります。

### ライセンスキー・インストール時:

#### メッセージ:

SPLM: Installing Server Key...

SPLM Error: Invalid Key - Checksum Error

#### 対応方法:

入力されたライセンスキーに誤りがあります。

### ライセンスキー・インストール時:

#### メッセージ:

SPLM: Installing Server Key...

SPLM Error: Invalid Key - Too Short

#### 対応方法:

入力されたライセンスキーに誤りがあります。

### ライセンスキー・インストール時:

#### メッセージ:

SPLM: Installing Server Key...

SPLM Error: Invalid Key - too long

#### 対応方法:

入力されたライセンスキーに誤りがあります。

#### ライセンスキー・インストール時:

##### メッセージ:

A Serious problem has occurred with this key: Error Code -401  
Please contact Intergraph Support.

##### 対応方法:

ライセンスキー発行後、Machine ID の出力が行われたため、ライセンスキーが無効となっています。最新の Machine ID を再度送付下さい。新たなライセンスキーを発行致します。

#### ライセンスキー・インストール時:

##### メッセージ:

SPLM: Installing Server Key...  
SPLM Error: Invalid Key - Not Within Installation Period

##### 対応方法:

ライセンスキーの入力有効期限が切れています。新たなライセンスキーを発行致しますので、再度ライセンスキーのインストールを行われる日時を御連絡下さい。

#### ライセンスサーバ指定時:

##### メッセージ:

SPLM: Adding Server(s) To server\_names File...  
SPLM Servers List File (Client) -> server\_names

Node: XXXX  
Address: 0.0.0.0  
Status: [In gethostbyname] No error

Did Not Modify server\_names File

##### 対応方法:

ライセンスサーバとして指定した名前「XXXX」が誤っています。

#### アプリケーション起動時:

##### メッセージ:

Could not get a license from SmartPlant License Manager.  
SPLM Failed: [Opening File] System cannot find file specified - server\_names  
Please refer to the SPLM documentation.

##### 対応方法:

ライセンスサーバ名の指定が行われていません。

アプリケーション起動時:

メッセージ:

Could not get a license from SmartPlant License Manager.

SPLM Failed: [Opening File] System cannot find file specified - pdlice\_key\_S - サーバ名

Please refer to the SPLM documentation.

対応方法:

ライセンスキーのインストールが行われていません。

アプリケーション起動時:

メッセージ:

Could not get a license from SmartPlant License Manager.

SPLM Failed: [Read Pipe] Garbled Data From SPLM (Client)

Please refer to the SPLM documentation.

対応方法:

アプリケーションのバージョンに対して、SPLM ソフトウェアのバージョンが古い状態となっています。アプリケーションの CD-ROM と同時にお送りした SPLM の CD-ROM に含まれるバージョンを使用する必要があります。

アプリケーション起動時:

メッセージ:

Could not get a license from SmartPlant License Manager.

SPLM Failed: Invalid Key. Mismatching parameters.

Please refer to the SPLM documentation.

対応方法:

ネットワーク接続が無効となっています。または、ライセンスキーインストール後、SPLM のより新しいバージョンのソフトウェアが上書きインストールされたため、ライセンスキーが無効となっています。Machine ID の再出力および送付をお願い致します。

アプリケーション起動時:

メッセージ:

Message from SmartPlant License Manager.

SPLM Warning: License Expires Within [Days] - XX - ライセンスサーバ名

Please refer to the SPLM documentation.

対応方法:

ライセンスキーの有効期限が XX 日後に満了することを示しています。[OK]ボタンをクリックすることにより、アプリケーションの起動を続けることができます。

アプリケーション起動時:

メッセージ:

Could not get a license from SmartPlant License Manager.  
SPLM Failed: License Key Has Expired - ライセンスサーバ名  
Please refer to the SPLM documentation.

対応方法:

ライセンスキーの有効期限が満了しています。当社へ御連絡下さい。

アプリケーション起動時:

メッセージ:

Could not get a license from SmartPlant License Manager.  
SPLM Failed: [Sending Socket] Socket operation on non-socket.  
Please refer to the SPLM documentation.

対応方法:

インストールされている他のソフトウェアと SPLM との相性がよくないことが考えられます。ネットワーク関連のハードウェア用ドライバ等を削除することで、問題が解決される場合があります。

アプリケーション起動時:

メッセージ:

Could not get a license from SmartPlant License Manager.  
SPLM Failed: [Reading Socket] Socket operation on non-socket.  
Please refer to the SPLM documentation.

対応方法:

インストールされている他のソフトウェアと SPLM との相性がよくないことが考えられます。ネットワーク関連のハードウェア用ドライバ等を削除することで、問題が解決される場合があります。

アプリケーション起動時:

メッセージ:

Could not get a license from SmartPlant License Manager.  
SPLM Failed: No Grade-Level Seat Available - アプリケーション名 - ライセンスサーバ名  
Please refer to the SPLM documentation.

対応方法:

使用可能なライセンスが残っていません。1 台のクライアントマシン上で複数のアプリケーションを起動している場合等、不要なものがあれば終了します。なお、SPR のオプションモジュール等の場合には、Select Modules コーティリシティにより使用するオプションモジュールのみを指定することで起動可能となる場合があります。また、アプリケーションが異常終了した後は、次回アプリケーションを起動しようとした際に上記メッセージが表示される場合があります。この場合には、「コマンド プロンプト」を起動し pdlice -n コマンドにより Scavenge 処理(実際には使用されていないライセンスの回収)を行う必要があります。

Scavenge処理実行時:

メッセージ:

SPLM: Scavenging For Seats...

SPLM Error: [Check Size] Server Key File Improperly Modified - Reinstall

対応方法:

管理者権限を持つユーザ名(Administrator 等)以外のユーザ名で Scavenge 処理を実行しようとした際に、このメッセージが表示されます。



日本インターグラフ株式会社

Process, Power & Marine

045-640-1191 (代)

[www.intergraph.jp](http://www.intergraph.jp)